

【目標】ルロイ修道士の言動に着目し、どのよくなき人物として描かれていくのか読み取る。

名前

【学習課題】ルロイ修道士の人物像について、登場人物の置かれた状況や言動を関係づけて完成させよう。

完全版 URL <https://www.koudouen-guide.info/entry/2017/05/19/144507>

音楽で語り合ひながら「わたくしは、故人の死を惜み、誰で死ぬかを表し、永遠の別れを

「死葬」とは？

私は、「わたくし」とルロイ修道士の關係の分かる品物(死葬)を見た。

音楽で語り合ひながら、故人の死を惜み、誰で死ぬかを表し、永遠の別れを

「死葬」とは？

私は、「わたくし」とルロイ修道士の關係の分かる品物(死葬)を見た。

課題(読む)(B)

B: ルロイ修道士の人柄が伝わる部分を読み取り、書く欄ができる。

文章を補つて完成させよう。

構成

○○先生、●●でござります。教え子と致しまして、謹んで告別の言葉を申し上げたいと思います。

つい先日お会いしたときに、お元気そのものでした。信じられない思ひも

②故人と闘う
係死への轍

は、高校の一年では担任を務めていた三年間、陸上部の

コチをして頂きました。

①喋り始める

○○先生、「わたくしは、この死の轍から逃れられません。」

この死の轍から逃れられないことを語る

③弔辞の文	私が二年の時、リレーで初人柄や業績などと共に調べて語る	これまでの努力と全員の長所に部員一同掛けそろにがったとき、○○先生は私達の今	褒め言葉は避けながら、故人の感謝の気持ちやさしい指導のもと力も	8に入るこという輝かしい成績をあげることができるまで、全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	○○先生、「わたくしは、この死の轍から逃れられません。」	この死の轍から逃れられないことを語る
④弔辭の文	出を語る	じとじと共に調べて語る	これまでの努力と全員の長所に部員一同掛けそろにがったとき、○○先生は私達の今	8に入るこという輝かしい成績をあげることができるまで、全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	○○先生、「わたくしは、この死の轍から逃れられません。」	この死の轍から逃れられないことを語る
⑤弔辭の文	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	○○先生、「わたくしは、この死の轍から逃れられません。」	この死の轍から逃れられないことを語る
⑥弔辭の文	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	年には全国大会でもベストに自信をつけ、私が卒業した翌年に本業して二十年が経ちました。本業して二十年が経ちました。今でも先生のやしさと、時に厳しく私達を励ますし、見守って下さったことは強く感謝の気持ちです。	○○先生、「わたくしは、この死の轍から逃れられません。」	この死の轍から逃れられないことを語る